

登録コード	MA000900	開講年度	2026			
授業科目名	臨床医科学概論				担当教員	伊藤 研一
英文授業名	Introduction to Clinical Medicine				副担当	
単位数	2	講義期間	前期(後半)	曜日・時限	木曜・不定期	対象専攻／学年
講義室	旭総合修士講義室		授業形態	講義	授業科目区分	1 年次必修
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇄	
	MS 2 6 カリ(医科学)・医科, MS 2 5 カリ(医科学)・医科, MS 2 4 カリ(医科学)・医科, MS 2 3 カリ(医科学)・医科					
	【医科学】基礎医学および臨床医学に対する基本的知識、技能および技術を修得し、自主的に検討することができる。				⇄	臨床医学の様々な分野に対する基本的な理解を深めることを通じて、医科学研究への意欲を高める。
(2)授業の概要	1) 臨床医学の概要を学び、臨床医学に関わる職種、組織などについて理解を深める。 2) 医科学領域での研究を遂行するために必要な臨床医学概論、臨床医学の各領域における疾患学的知識を学び理解を深める。 3) 病院組織や健康保険制度について学ぶ。					
(3)達成目標（一般学習目標 G I O）	臨床医学に対する理解を深め、医科学研究への意欲を高める。					
(4)達成目標（個別行動目標 S B O s）	授業計画を参照					
(5)授業計画	※一部授業は遠隔授業で実施予定。実施方法はeALPSに掲載するので、確認すること。 7.9（1時限）乳腺内分泌外科学 伊藤 研一 腫瘍の治療における外科的治療の役割について学ぶ。 7.9（2時限）眼科学 村田 敏規 白内障、緑内障、糖尿病網膜症の概要と治療法について学ぶ。 7.9（3時限）消化器外科学 副島 雄二 外科学の概要を理解し、消化器系疾患の外科的治療法について学ぶ。 7.9（4時限）小児医学 中沢 洋三 小児の成長・発達における特性と関連する疾患について学び、成長・発達過程にある小児を対象とする研究の在り方や課題について考える。 7.9（5時限）内科学 3 漆葉 章典 神経・筋難病について、代表的疾患の概要、療養支援、治療法開発の動向を学ぶ。 7.9（6時限・前半）（18:00～18:45）画像医学 藤永 康成 放射線医学（放射線診断学、放射線治療学、核医学）の概要について理解を深める。 7.16（2時限・後半）（11:25～12:10）歯科口腔外科学 栗田 浩 咀嚼の効能について学ぶ。 7.16（3時限・前半）（13:00～13:45）麻酔蘇生学 石田 高志 手術による痛みを制御し、全身管理学へと進歩した麻酔科学について理解を深める。 7.16（3時限・後半）（13:45～14:30）皮膚科学 奥山 隆平 皮膚を構成する細胞の性質と皮膚疾患の特徴について学ぶ。 7.16（4時限）耳鼻咽喉科頭頸部外科学 工 穰 主要な頭頸部領域の疾患の概要、検査法と治療法について学ぶ。 7.16（5時限）内科学 1 牛木 淳人 呼吸器内科学の概要を理解する。さらに、主要な呼吸器疾患の概要、検査法、治療法について理解を深める。 7.23（1時限）産科婦人科学 宮本 強 産科、婦人科領域における疾患の概要、検査法と治療法について学ぶ。 7.23（2時限）泌尿器科学 皆川 倫範 泌尿器系疾患の概要、検査法と治療法について学ぶ。 7.23（3時限）脳神経外科学 堀内 哲吉 脳神経外科学の概要を理解し、主要疾患の外科的治療の概要について理解を深める。 7.23（4時限）運動機能学 岡本 正則					

(5)授業計画	運動器疾患（脊椎，関節，手外科，腫瘍）の診断と治療について学ぶ。 7.23（5時限・前半）（16:20～17:05）内科学4 関戸 貴志 糖尿病の病態と最新の治療を学ぶ。 7.23（5時限・後半）（17:05～17:50）内科学2 橋本 幸始 主要な腎臓疾患の概要を理解し，診断法や治療法について理解を深める。 7.23（6時限）救急集中治療医学 今村 浩 生命維持科学（life support medicine）のあゆみと今後の動向について学ぶ。
(6)授業の進め方	オムニバス形式で講義を行う。スライドは英語表記を原則とする。
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	授業計画に示したキーワードについて基本的な情報を教科書、WEBなどで調べ、そのテーマに対するイメージを描いてから受講すること。
(8)成績評価の方法	各教官の判断で、レポートや小テストを行う。 各レポート、小テストの平均が60%以上で合格とする。
(9)成績評価の基準	【筆記試験の場合の例】 授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある(可)」，応用問題が解ければ「やや上にある(良)」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある(優)」，例題よりもかなり難しい応用問題が解ければ「卓越している(秀)」 【レポートの場合の例】 (i) 問題の設定が適切であり，(ii) その問題の背景を説明できており，(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており，(v) その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。(i) から (v) の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」。4項目までできていれば「やや上にある(良)」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。
(10)学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	臨床医科学概論では，1年前期で学んだ人体の機能，形態，心理，疾病のメカニズムなどについての知識を基礎にして，疾患について臨床医学的な観点から学ぶとともに，臨床医学は患者という生きている人間を対象とした人間学的な面を備え，また，その一方で，病院組織，病院経営という実務的な側面を備えた領域であることを理解して欲しい。 担当者，連絡先内線 伊藤 研一（責任者，外科学教室乳腺内分泌外科学分野，内線5267）他
【テキスト，教材，参考書】	テキスト：なし 参 考 書：「内科学」朝倉書店 Cecil's Textbook of Internal Medicine